

麻しんワクチン（予防接種）啓発号

2010.11.6.

大阪府立今宮高等学校保健室

先日実施された麻しんワクチンアンケート結果から、現時点での接種率は「49.4%」（9月末現在）でした。

日本は麻しん輸出国

アメリカの麻しんは、ほとんどが輸入例で、日本からの輸入が第1位といわれています。

世界の現状

日本は、中国、インドその他の途上国とともに、第1段階である制圧（control）期に含まれている。オーストラリアなどのオセアニア諸国の多くは第2段階の集団発生予防（outbreak prevention）期に、また、アメリカ大陸、ヨーロッパ、南アフリカや中近東の一部は、すでに排除（elimination）期としての対策が進んでいる。先進国の状況は、代表的な国ではいずれもワクチンの2回接種を基本としており、米国、カナダなどのワクチン接種率は95%を超えている。この高い接種率は入学時の条件として要求されていることが大きいと考えられる。

大学入学時に確認が求められることがある

関西の近隣大学においては、入学手続き時や、入学後の新入生健康診断時に「麻しん（はしか）に関する確認書」の提出を求められる学校があります。2007年の高校・大学を中心とした学校等での麻しんの流行で、休校を余儀なく実施したことへの大学側の予防措置の一環です。

時期をのがすと、約1万円かかります。早めに接種しましょう！！

平成23年3月31日までなら、無料で接種できます。無料の期間が

3月中旬で終わる市町村があるので確認してください。

以下、参考（大阪教育大学の募集要項より）

本学の入学試験合格者は、入学手続き時に麻しんに関する確認書の提出が必要です。

確認書の証明内容には、以下の項目が必要です。

- ・ 予防接種年月日
- ・ 使用ワクチン名 Lot.No.（使用ワクチンのラベル添付でも可）
- ・ 医療機関名・医師名

*麻しんに罹ったことのある人は、本学指定の抗体検査（EIA 法-IgG 検査）をうけて証明することができます。（検査費用は全額自己負担）

なお、検査の結果、本学の判定基準を満たさなかった場合は麻しんワクチンの接種を受けてください。抗体価：8.0以上の陽性であれば、予防接種は不要なので、抗体検査結果報告書をコピー添付してください。抗体検査の費用は、6000～10000 円前後です。結果が出るには、1 週間から、10 日程度かかります。

以上は、大阪教育大学の例ですが、神戸大学等も同様の証明が求められます。

（病気や体質等やむをえない事情によって予防接種を受けられない場合も医師の証明が求められます）

*一度麻しんに罹った人でも、今回のワクチンを接種しても大丈夫とされています。

大学入学後の教育実習や施設実習に入る前に、麻しんワクチン接種証明をすべての大学で求められます。

また、留学する場合には、様々なワクチン接種が義務付けられます。

たとえば、アメリカ留学に、麻しんワクチンは必要なワクチンの一つです。

*受験期の健康管理には、インフルエンザのワクチン接種も併せて勧めます。但し、インフルエンザと麻しんワクチン接種の順番には以下の制約があるので注意してください。

